市の花 ヒメサユリ
市の鳥 芝地鶏
市の木 五葉松
2007(H19)
1/1・16
No.0040

広報 さんじょう

CITY INFORMATION

早春の白鳥（森町）

森町の鶴亀橋たもとには、毎年たくさんの白鳥が飛来します。
羽を休めに来る白鳥たちを見ていると、心が癒されます。

Contents

主な内容

特集①　新春対談 …… 2～5
特集②　市長所信表明 …… 6～9
お知らせ …… 10～17
パブリックコメントにご意見を …… 18
写真でスケッチ …… 19
シリーズ …… 20
まちかどニュース …… 21
ミニ情報 …… 22
あいどる登場・市民プラザ …… 23
2月の相談日・休館日 …… 24
2月の健康カレンダー …… 25
まちのお宝み～っけ …… 26

情報発信中

ご覧ください　ホームページ
http://www.city.sanjo.niigata.jp/
イベント情報やデータ満載

お聞きください　FM放送
「ピックアップさんじょう」 76.8MHz
7:35、12:05です。再放送もあります。

新年対談

議長 村上幸一

今回の特集は、國定市長と村上議長の新春対談をお送りします。

◎今年の抱負について

市長　新年明けましておめでとうございます。

昨年の11月13日に三条市長となり、1カ月半が経ちました。平成19年は、私にとって最初の予算編成となり、選挙の中で掲げた6つの重点政策についてどれだけ取り込むことができるのかを念頭に置き、しっかり取り組んでいきたい。

救命救急を始めとする県央地域全体として取り組まなければならない問題についても、早々に取り組んでいきたい。新潟市と長岡市の間に、県央地域が埋没してしまうという危険性があるという認識のもと、できることから、連携した事業に取り組んでいきたい。地道に一つ一つ進めていくことが、三条市の発展につながると確信している。

議長　新年明けましておめでとうございます。

新しく市長になり、初めての予算編成ということで議会として、三条市民の皆さんともども楽しみにしている。

市長は、前高橋市長の市政を継承することで当選された。我々議会は、三条市民に温かい市政運営を期待している。議会としても車の両輪のごとく協力しながら、市民のために頑張っていきたい。

市長　審議機関としての議会と我々執行機関は、制度上位置づけられた車の両輪であり、議会の場で真剣に議論をすることが、三条市の良い未来をつくっていく礎（いしずえ）となっていくと思う。

議長　やはり市民主体の市政をしていく必要がある。市民も、それを期待している。

三条市は、多くの市債を抱えているので大変厳しいと思うが、市民主体の中で、暮らしが良くなることが基本目標になると私自身は考える。

市長　そうあるべきだ。我々としても、良い提案を議会に示していきたい。

議長　今までは、7・13水害などがあったので、ある程度理事者から出されたものに対して、協力し両輪のごとく進めてきた。その後に合併もあった。

新しいスタートに際し、原点に戻り審議機関として検証し、市長とともに市民のために頑張っていく決意だ。

市長　互いの思いが、市民のため、県央地域のためという根っ子の部分で一緒であるので、本当の意味での議論がされるものだと、私も期待している。

◎県央地域について

議長　県央がどう発展していくのかについては昭和60年代に、青年会議所が中心となり、県央30万都市構想が持ちあがり、話し合ってきた。その後、三条、栄、下田の3市町村が合併し新しい三条市に、燕市、吉田町、分水町の3市町が合併し新しい燕市が誕生した。本来なら、一緒にならなければ新潟市、長岡市に挟まれて埋没してしまう状況だと感じている。

市長　おっしゃるとおりだ。

議長　燕市の議員と話しをする機会があり、合併のことも少し触れたが、燕市は8万余の都市になったばかりで、新たな合併は考えていないようだった。そのとき、三条市と燕市の合併はまだまだ先の話になるのかなぁと感じた。

市長　隣接する新潟市と長岡市が今後さらに大きくなり県央地域が吸収されてしまうのか、それとも新潟市と長岡市の間にあるという地の利を生かしていくのかという大きな岐路に立たされている。

新潟市、長岡市と肩を並べながら都市間競争をして

市長対談

市長 國定勇人

いくためには、最終的に、県央地域として一つにまとまる必要がある。

　議長がいわれたように我々も燕市も合併したばかりという状況の中で、一つ一つの連携事業を手を取り合って実施し、これまでのいきさつを払しょくする以外にない。そうすることが、遠いようで逆に近道ではないか。

議長　三条市の合併は、本来燕市を含んだものであった。地場産センター・リサーチコアは、半分ずつお金を出して造り、運営経費も半分ずつ出している。燕市と三条市が金属加工のまちという同じ産業形態なので合併すれば、効率よく物事ができると思っていた。しかし、今すぐ合併ということは難しい。できるところから協力し、また、加茂市や田上町、見附市など近隣の市町村と連携を図り、県央地域として、基盤をつくっていく。そうなったときに医療の関係や、ほかの話が出てくるのではないか。

市長　医療のことは大変重要だ。県央地域の連携を進める一つの手法として、医療の連携を図っていく。今は検討している状況だが、医療関係者、行政機関、首長が互いに話し合いのできる場を設け、ほかの事業についても連携施策を図っていく。その積み重ねがすべての第一歩だと思う。

議長　医師会の全面協力のもと夜間診療が行われているが、救命救急センターは、本当に必要な施設だ。しかし、誘致するには市単独では難しい。隣の加茂市、燕市はいずれも県立病院がある。県央地域に必要という思いは同じでも条件が整うには時間がかかる。

市長　医療といったときに、いきなり救命救急センターや県立病院の問題などを一緒に議論してしまうと思うように進まない。しかし、今の夜間診療だけで十分な一次救急体制ができていますかといわれれば、答えは「ノー」だ。

　まずはそういうところから充実させ、「市町村レベルでしっかりとした一次救急体制ができたので、県もそれに相応する救命救急体制を県央地域に整えてください。」と、お願いする。市町村レベルで頑張ってこそ初めて県が追いついてくるのかなぁと思う。早期に救命救急体制を県央地域に整備したい。

議長　やはり医師会の協力を得ながら、近隣市町村で意思統一が必要になる。難しい部分もあるが何かしら行動を起こさないといけない。

市長　近々に取り組むべき大きな課題だ。

◎道路について

議長　小林燕市長は、以前、国道289号線の下田を基点に、県央南部線として寺泊まで通すことを広域の中で話された。

　地域を結ぶ幹線道路がなければ観光や物流もうまくいかないので、ぜひ燕市長と話し合ってほしい。

市長　県央地域全体としての課題は道路ネットワークだ。救命救急の話に戻るわけではないが、せっかく救命救急センターができたとしても、東西南北にクロスする道路ネットワークがなくては、機能不全に陥る。幹線網としての道路ネットワークはしっかり整備しなければならない。三条市だけでできる部分ではなく、県央全体で考えていかなけ

ればいけない。

今、道路財源の問題が議論されているが、先日、あるインタビューに次のように答えた。「特定財源を一般財源化するということは時期尚早だ。県央地域を見ても、国道４０３号線の三条北バイパス、国道２８９号線の八十里越、国道８号線拡幅の事業が終わってもいないのに、道路特定財源を一般財源化しますかとはどういうことか。地方が、本当にほしいと思っている道路にお金を投げかけないで、余っていますという物の言い方はおかしいのではないか。もし、仮に国にはお金があるけれど地方にはお金がないから道路が造れないという言い方が正しいとしたなら、だぶついた道路財源を地方に回せるように制度の仕組みを変えればいいのではないか。」道路特定財源は、我々としてもその動きを見続け、良くない方向に行くようなら行動を起こしていかなければならない。

議長　道路特定財源については、毎年議会で目的に従って使うよう意見書として国に上げている。地方は道路が基盤であり、生活の場である。趣旨を堅持し、地方に財源を充ててほしい。国道４０３号線バイパスもいつ完成するか分からない状況だ。保内の工業団地を造り、本来なら通っているはずなのに道路網がないことで売れ残っている。やはり、基本は道路だ。

市長　インタビューの中で話したもう一つの大切な視点として、地方にお金がないことも事実だ。新しい道路を造るときに優先順位を決める指針が必要だ。国土交通省は国レベルの指標を持っているそうだが、内容は、全国画一的で都市も地方も一緒になったものだ。都市と地方を同じ基準で考えてはいけない。我々地方自治体が市道を造るというレベルでも算定可能な指標を、国で作ってもらえればいいのではないか。

道路を造るとき、なぜその道路が必要なのかの線引きが難しい。税金を投入する以上は、説明できるものでなければいけない。

◎子育て環境について

市長　三条市単独で取り組む施策については、まず、子育て環境を充実していかなければいけない。県央地域の底力は何かというと、金属加工産業と農業の一部分について、後継者が、しっかりいるということが県央地域の強みだ。ただし、引き続き県央地域、三条市が繁栄し続けるには、これから先を担う子どもたちがこの地域で育っていかなければいけない。そして、現役世代の若年層世帯が流入してこないといけない。最低限、流出は避けなければいけない。特に、共働きの多い地域であり、安心して子どもを預けられる環境はしっかり整える必要がある。限られた財源だが、地域の協力を得ながら、そういう場を提供していきたい。

議長　特に共稼ぎの皆さんが、安心して暮らし、仕事ができるよう子どもたちを預かる場所が必要だ。

私は、親子2世代で生活しているから年寄りが孫の面倒を見ている。しかし、核家族で共稼ぎの皆さんは面倒を見てくれる人がいない。小さいうちは保育所などに預け、子どもが学校へ行くようになると児童館に預ける。子どもを見てもらわないと生活が成り立たない。その一方で、預かる方は、保護者が帰ってくるまではしっかり面倒を見ることが必要だ。

市長　三条市は、潤沢な資金がないので新しい施設を造ることは難しい。しかし、公共施設が多いので、その中で、場を確保する。一方、運営を考えると地域全体で「地域の子どもは地域で育てる」という考え方はとても大事な視点だ。月岡小学校で始めた地域ふれあい教室は、全国でも誇れるモデルケースだ。

議長　運営に協力している皆さんは大変だと聞いている。それでも、孫のためということで頑張っているが、あまり年配の皆さんに頼り過ぎると逆にリタイアしてしまう。もっと若い世代の人たちも参加してほしい。我々のころは、通学のときに地域の大人にいろいろな声を掛けてもらったが、今はほとんどなくなっている。みんなで声を掛け合い、良い事と悪い事をはっきり子どもに教えていく必要がある。ともすると、親でさえ教えないことがある。それを、地域のおじいちゃん、おばあちゃんを中心にカバーしていく。前市長が地域コミュニティを立ち上げたのも、その一環として実施していたものなので、ぜひ推進してほしい。

市長　子育てにしても学校教育にしても、今、原点回帰をするべき時点にきている。子育てについては、家庭、地域でもう一回支え合っていく。今までは、行政や有料の民間サービスといわれていた。また、ゆとり教育といわれていたが、教育基本法改正などの動きなどもある。国や地域を愛するなど日本人が生まれ持った、先祖代々受け継がれた倫理心、道徳心とは何かをもう一度子どもたちに伝え

ていく原点回帰を、今、しなければいけない。藤原さんの「国家の品格」がベストセラーになっているということがその表れの一つではないか。

議長　私は、戦後教育を受けてはいるが、戦前の雰囲気の中で育ってきた。世の中に出て苦しいことも、いっぱいあった。だから、自分の子どもには苦しい思いをさせたくないとの思いから、無理をしても子どもたちには物を与えた。その子どもたちが、大人になり、自分たちの子どもができて、同じ感覚で子育てをしている。最近の親が悪いといわれるが、その親を育てた我々の年代に責任があるのかもしれない。

市長　当時は、時代として絶えず上昇し続けていたので、仕方のないことではないか。

議長　やって良い事と悪い事の判断ができない子どもが多い。結局、親が教えられないので、おじいちゃん、おばあちゃんが口を出して初めて分かる。

市長　原点回帰とは、日本人が日本人らしさを取り戻す。それを否定することはおかしい。欧米社会は、キリスト教という厳格に共通の認識を持つべきバイブルがあり、イスラム圏はイスラム圏で持っている。日本もかつては、共通の認識があった。それこそ、国家の品格に出てくる武士道ではないが、どうしてではなく、これは悪いことなんだという基準を戦後教育の中できっちり教えていくことが難しかった。今、まさに原点回帰すべきだ。それが国家全体として教育基本法の改正という動きがでてきたのではないか。教育については、学力向上の視点からも、教育委員会で検討するよう指示をしたところだ。

◎内水対策について

議長　嵐南地区は、自然排水ができていない、いやできない状況だ。新しく開発したところに住宅を建て、現在は、道路と同じ高さに田が造られているところが多い。遊水地になるべきところを田にし、宅地開発をしたので、機械排水でなければ排水ができない状態だ。

　今回、新通川、島田川と間野川、そして曲渕のポンプ場の能力をアップしたが、引き寄せる水が足りない。特に新通川は、毎秒８㌧の能力を持つ機械を県から設置してもらったが、川幅を広げるなどの措置をしなければ内水の排水として効果が薄い。

市長　内水氾濫の対策を考えたら、新通川と島田川、間野川に貝喰川も加える必要があり、河川改修を一朝一夕に来年、再来年できますということは難しい。引き続き、県に計画を立て実施して行くようしっかり訴え続けていきたい。

議長　新しい三条高校は、グラウンドが遊水地の機能を持つが、道路より１㍍も高い。嵐南地区は、本当に自然排水ができない場所だ。五十嵐川の改修が終われば、毎秒１，８００㌧の水が流せる。先回の水害では毎秒２，０００㌧の水が流れ込み、諏訪の堤防が決壊した。ダムで２００㌧を抑え、残りの１，８００㌧の水が流せるよう計画期間内に改修工事を進めてほしい。

市長　五十嵐川、刈谷田川改修は、必ず計画期間内に工事を完了させていく。内水氾濫の問題は、しっかり取り組んでいきたい。嵐南地区だけではなく須頃地区でも問題となっているので、全体で何が一番の解決策なのか、県と市の役割も含め考えていきたい。

議長　須頃地区は燕市と話がつき、国の補助事業の中で実施することになった。

◎財政と新市建設計画について

議長　９５３億円の市債があるが、事業の見直しについては、十分に検証してほしい。

市長　新市建設計画に合併特例債搭載事業がいくつかある。理念そのものは、大切にしていきながら、事業内容や事業規模について、不断の見直しを絶えず行っていく必要がある。厳しい財政の中どれが一番良いか、どれがより高い事業効果が得られるかを検証し考えていきたい。

議長　合併の中での事業であり、これは良い、あれは悪いとはいかないものもある。財政的にみながら順序を立てて行うべきだ。栄・下田地区の皆さんが一番危惧（きぐ）するものであり、バランスよく市政運営をしてほしい。

市長　３地域の格差があるとすれば、是正していくことが新市建設計画の基本姿勢であり、重く受け止めている。それでも、新市建設計画に定められた通りに執行するのがベターなのか、それとも必要な見直しを行ったうえで、事業効果が高く得られ、事業額が安く済むものを選ぶのかについては、常に考えていく必要がある。限られた９年間の中で行っていかなければならない。地域審議会があるのでいろんな方から意見を伺い、最終的には議会と議論をしながら最終決定をしていきたい。

市長 所信表明

《はじめに》

平成18年三条市議会第5回定例会に臨み、所信表明の機会をいただきましてありがとうございます。ただ今から、今後の市政運営に際しまして、私の基本的な考え方を述べさせていただきます。

私は、先般の三条市長選挙におきまして、市民の皆様から温かいご支援をいただき、今後4年間、市政を担当させていただくことになりました。

これからの市政運営に当たりましては、市長職務の重責を十分認識しつつ、今回の選挙期間中、市民の皆様からいただきました市政に対する期待や要望、苦言に対して謙虚に耳を傾けながら、市政発展のために、全身全霊を傾けて努力いたしますことを10万7千余人の市民の皆様にお約束いたします。

さて、地方自治体を取り巻く社会経済情勢は、加速する少子高齢化や産業・経済活動のグローバル化、高度情報化、本格的な地方分権への対応など、かつて経験したことのない大きな転換期を迎えています。「今日の常識は、明日の非常識」と言っても過言でないほどのスピードで、まさに激変の時代の真っただ中にあります。少子高齢化問題一つを見ても、人口構造の変化により、これまでの右肩上がりの経済を前提に機能してきた社会保障制度などの社会システムや地域社会の在り方などが抜本的な見直しを余儀なくされています。

このような時代背景の中、行政の在り方や役割もまた従前と同じで良いということは決してなく、これからも地方自治体が必要とされる公共サービス機関として生き残っていくためには自ら変革していかなければならないと強く認識しております。

他方、「平成の大合併」を経て、三条市も10万都市に生まれ変わりましたが、近隣自治体でも大規模な合併が行われた結果、政令指定都市となる80万都市新潟市と中核市を目指す28万都市長岡市に南北に挟まれる格好となりました。

大新潟市、大長岡市の間に埋没する三条市となるのか、逆にその間にあるという地の利をいかし、自立的に発展しながら人々からそこで暮らしたいと選ばれる県央の三条市を形づくっていけるのかは、これからの私たちの取組次第です。

私たちが目指さなければならないのは、もちろん、自立的に発展を遂げ、選ばれる三条市への道であり、そのためには、まず、先ほど申し上げましたように行政自らが変革を図りながら、時宜にかなった的確な施策を着実に推進していくことが必要であると考えております。

幸いなことに、三条市には、優れた人材、しっかりとした地場産業と農業基盤があります。加えて、豊かな自然環境にも恵まれています。このようなまちは全国を探してもめったにありません。これらのまちの魅力をより一層高め、連携させながら活用していくことが大切です。

私は、愛する三条市が発展していくために、6つの重点政策、「行財政改革の断行」、「バランスのとれたまちづくりの推進」、「防災対策の推進」、「地域経済の再活性化」、「安心、快適な都市・住環境の整備」及び「子育て環境の充実」を柱として各種施策を推進するとともに、全国に向けて三条市の良さを発信し続けます。

《行財政改革の断行》

～住民サービスの向上を目指して～

世の中の在り様が大きく変わろうとしている今、より良い住民サービスを提供していくためには、地方行政もまた質的に変わりながらしっかりとした行財政基盤を確立していくことが必要です。

ところが、当市は現在「三位一体の改革」等による財政の悪化、さらには、「団塊の世代」の職員の大量退職による人的不足に直面しています。

こうした状況に果敢に対応するため、行政内部の改革の具体的な道筋を示す「経営戦略プログラム」が昨年3月に策定されています。

私は、このプログラムを確実に進めることにより生み出された資源を活用し、選択と集中によって住民サービスの向上を図りながら、以下に申し上げます、これ以外の5つの重点政策を始めとする重要課題の具体化を図ってまいります。

とりわけ、今後、職員の大量退職等により「小さな市役所」となっても各般にわたって市民の皆様から満足していただけるサービスを提供し、かつ、都市間競争に打ち勝つべく各種施策を企画・実施していくために、何よりも徹底した職員の意識改革と資質向上を図ってまいります。

市長　所信表明

《バランスのとれたまちづくりの推進》

～一体感のある新三条市を目指して～

私は、上越新幹線や北陸自動車道など高速交通体系を始めとする社会資本がしっかりと整備されており、かつ、豊かな自然と確かなものづくり技術が息づく当市は、本格的な都市間競争に打ち勝って大きく飛躍できる潜在能力を秘めたまちであると確信しています。

この潜在能力が十分に顕在化されるためには、旧3市町村が融和し、相互理解していくことが絶対条件であり、「三条ひとつ」という一体感がどうしても必要です。私は、市民の皆様と直接じっくり懇談し、皆様のご意見に耳を傾けながら、行政サービスが特定の地域に偏ることのないようバランスのとれたまちづくりを進めてまいります。

そのための第一歩として市内24小学校区単位で市民との「ふれあいトーク」を定期的に開催してまいります。また、市長へのたよりや地域審議会など様々な機会を通じて市民の皆様のご意見をお伺いします。

融和し、相互理解を進めた上で、「新市建設計画」の趣旨を十分尊重しつつ、その具体的な事業については行財政改革とのバランスの中で事業費や事業効果などをきちんと検証・点検し、必要に応じた事業の見直しをも辞さない覚悟で同計画の理念実現に向けて着実に取り組んでまいります。

また、新三条市の融和を実現するためにも、旧3市町村の均衡のとれた発展が重要です。そのため、例えば、便利で快適な生活を支える高度情報通信基盤を山間地も含めて整備し、「いつでも、どこでも、だれとでも」情報のやり取りができる環境づくりを行ってまいります。

さらには、この場で申し上げております6つの重点政策を着実に推進することで三条の魅力をより一層高めるとともに、近隣自治体との連携を様々な形で深めていくことにより、県央地域の一体感を醸成してまいります。

《防災対策の推進》

～安心・安全に暮らせるまちを目指して～

市民が安心して安全に暮らしていけるまちを実現することは、行政の根本的な使命です。

私は、平成16年に発生した「7・13豪雨水害」で当市が未曾有の被害を受けたこと、今なお多くの市民が苦しんでおられることをしっかりと心に刻み、五十嵐川、刈谷田川等の改修事業に全力を尽くし、災害からの復興を進めてまいります。

さらに、これらの事業推進とあわせ、市内に流れる中小河川の整備促進を図るとともに、内水対策については、大雨による浸水被害を軽減できるよう努めてまいります。また、貝喰川の整備や須頃地区の内水対策については、近隣自治体と連携を図りながら推進してまいります。

防災対策は行政だけで完結するものではなく、地域の力が不可欠です。具体的には、「公助」、「共助」、「自助」の中の「共助」の中心となる「地域コミュニティ」の維持・発展に努めるとともに、水害対応マニュアルの充実・強化などソフト面での防災対策について更なる充実を図ります。

他方、安心・安全の実現に当たっては、市民の皆様に主体的に取り組んでいただくことも大切であることから、地域等が行う防犯・防災対策に対して支援に努めるとともに、関係機関との連携を図ってまいります。

《地域経済の再活性化》

～日本全体の牽引役を目指して～

私は、高い技術力に裏付けられた、全国有数の金属加工業の集積地であるといった、この地域の持つ資源、優位性を最大限に活用し、産地の更なる発展を図るために、産業界の方々と議論を深めながら、異業種間連携戦略などを推進してまいりたいと考えております。

また、情報通信基盤の利活用によるビジネスモデルの確立や流通経費の削減などが進むよう支援していくとともに、企業の誘致を推進します。中心市街地や既存商店街の活性化については、関係する方々と十分に議論し、先進事例を参考としながら行政としての支援策を検討してまいります。

一方、農業も当市の大切な基幹産業の一つです。私が三条に来てもったいないと感じたのですが、三条産の農産物は安全で美味しいものばかりにもかかわらず、残念ながら首都圏での知名度がありません。

今後は、自立できる農業の確立に向けて、農業基盤の整備や農産物の高付加価値化を進めることはもちろん、県内外へ積極的にＰＲを行いながら三条産農産物のブランド化を進めます。

当市は合併によって豊かな自然、文化遺産、伝統的産業など多様な観光資源を有するまちとなりました。多くの「団塊の世代」の方々が間もなく定年を迎えられることを一つの好機ととらえて、都市部などから当市においでいただけるよう、グリーン・ツーリズムの取組や雄大な自然に着目したアウトドアの拠点づくり、刃物づくりなど、農業や工業の体験を含めた多様な地域資源を活用した観光戦略を推進してまいります。

これまで申し上げましたように、地域経済の活性化のためには、商工業、農業、観光業などといった産業の枠を越えた産業間連携を進めながら、地域一丸となって取り組むことが必要です。私自ら先頭に立って三条の魅力を積極的にＰＲしてまいりたいと考えております。

《安心・快適な都市・住環境の整備》

～だれもが住みたくなるまちを目指して～

だれもが住みたくなるまちであるためには、日常生活を安心・快適に過ごすことのできる環境づくりが不可欠であり、高齢者福祉や障害者福祉などの充実に努めることはもちろんのこと、万一の際の医療体制の整備も重要な課題であると認識しております。

私は、医師会と連携を深めながら、県央地域の関係市町村と協議を進め、この地域に一日も早く救命救急センターの整備がなされ、症状が重い

市長　所信表明

患者さんも含め、市民の皆様や県央地域の住民の方々が新潟や長岡まで行かなくとも県央地域の中で迅速に医療が受けられるべく努めてまいります。

そのため、まずは、現行の夜間診療所を拡充した内容の救急診療所の開設を目指します。県央地域を中心とする医師会や病院間の協議の進展にあわせ、関係市町村や県と協議を行い、県央地域にとって最も望ましい救急診療所の設置の在り方を見いだしていけるよう最善を尽くしてまいります。

また、道路交通網の充実を図るため、新保裏館線を始めとする幹線道路の整備促進に努めるとともに、だれもが快適に使用できるようユニバーサルデザインに配慮した公共施設の整備に努めてまいります。さらには、美しい自然と都市景観が調和し、市民の皆様からいつまでも住み続けたいと愛着を持っていただけるまちができるよう、20年、30年先を見据えた都市・住環境の在り方について早期に検討してまいります。

《子育て環境の充実》

～子どもたちの笑い声が響くまちを目指して～

過去の歴史を振り返ったとき、明治維新や戦後日本の経済発展の原動力となったものは、「知・徳・体」のバランスの取れた日本の教育水準の高さだと考えています。

また、子どもたちが個々の持ち味を最大限に発揮できる環境の整備、これこそ私たち大人に課せられた責務であるとも考えています。

さらに、子どもたちにきちんとした学力を身につけさせ、将来の三条を担う人材を育てていくことは地域づくりにとっても大事なことです。

しかし、全国的に少子化が進む中、当市においても児童生徒数が減少し、小中学校の小規模化が進行しており、子どもたちの学力の向上や子どもたちが社会性、集団性を培いながら成長していく上で、このことが少なからず影響を与えるのではないかと懸念されます。

これらのことから、私は、有識者や教育関係者と力を合わせて学力向上等のための具体的な教育プランを策定するなど、教育の充実に力を注いでまいります。さらに、成長期の子どもたちにとって、スポーツや文化に親しむ習慣や意欲を育成すること、望ましい食習慣を身につけさせることも重要であることから、こうした取組についても積極的に進めてまいります。

また、私は、一地方自治体でなしうる少子化対策には一定の限界があるものの、これからの地域社会を支えていくために、子育て支援は最も力を入れるべき課題の一つであると認識しております。

共働きの家庭でも安心して子育てができる環境を整えるためには、地域全体で子どもたちを支える仕組みづくりが必要です。この仕組みづくりを行いながら地域の方々の協力を得て子どもの放課後対策をしっかり行うとともに、一時保育の充実などを通じて子育てをしやすいまちを実現してまいります。

《おわりに》

以上、私の基本的な政策の考え方を述べさせていただきました。

「都市間競争」の時代は、地方自治体が知恵と工夫により市民の満足度を高めるべく競い合い、あわせて、市民の自主的な取組がいかにまちづくりにいかされるかが問われる時代であり、言い換えれば、真の意味での「地方の時代」であると認識しております。

三条市がこの「地方の時代」をリードする魅力ある地方の拠点都市となるよう、また、三条市に暮らす市民の皆様から本当に三条市民で良かったといっていただけるよう、これから4年間、議会の皆様を始め市民の皆様と真剣に議論を重ねながら、精一杯努力してまいりたいと思っております。

何とぞ、議会の皆様と市民の皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

お知らせ

■特に記載のないものは、電話で申し込みください。
■問い合わせなどに内線○○○とだけ記載してあるものは、市役所各課の内線番号です。市役所☎(34)5511にかけて、交換手にその内線番号を告げてください。

講座・催し

家庭園芸講座

サンファーム三条（農業体験交流センター）☎(38)2556

〈草花コース〉

▼**とき**…2月11日（日・建国記念の日）午前10時～11時30分
▼**内容**…草花の開花の仕組み、クンシラン、シンビジューム、シャコバサボテンなど

〈野菜コース〉

▼**とき**…2月11日（日・建国記念の日）午後1時30分～3時
▼**内容**…野菜畑の土作り、野菜作りの地ごしらえと肥料のやり方など

〈果樹コース〉

▼**とき**…2月18日(日)午前10時～11時30分
▼**内容**…果樹の仕立て方、休眠期の病害虫防除

◆**各コース共通事項**

▼**定員**…各20人（申し込み順）
▼**申込開始日**……1月18日(木)

手作りみそ加工体験講座

サンファーム三条（農業体験交流センター）☎(38)2556

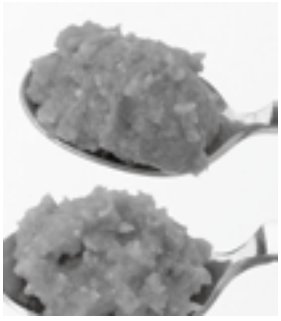
▼**とき**…1月21日(日)、28日(日)午前9時～正午
▼**定員**…各16人（申し込み順）
▼**参加費**…千五百円程度（材料代）
▼**持ち物**…エプロン、みそ（約7㌔）を入れる袋
▼**申込開始日**……1月11日(木)
＊事前に準備作業があります

そば打ち体験

下田サービスセンター産業課 ☎(46)5908

下田産のそば粉を使用し、そばを打ちます。

▼**とき**…1月20日(土)午前10時
▼**ところ**……庭月庵「悟空」
▼**定員**……20人（申し込み順）
▼**参加費**……千円
▼**申込開始日**……1月9日(火)
▼**申し込み**……庭月庵「悟空」☎(47)2488、木曜日を除く午前10時～午後3時



仏壇作りの技を体験しませんか

三条鍛冶道場　☎(34)8080

「仏都三条」が誇る国指定の伝統的工芸品、三条仏壇。その製造に欠かせない木地作り、金具作り、蒔絵（まき）の技法を伝統工芸士に習いながらアクセサリーなどを作ります。

木地アクセサリー作り

▶**とき**…1月27日(土)午前10時～正午
▶**内容**…「木地作り」の技術を使い、くぎを使わずに木を組み合わせていろいろな形を作ります
▶**申込期限**…1月19日(金)

彫金アクセサリー作り

▶**とき**…2月10日(土)午前10時～正午
▶**内容**…「錺（かざり）金具」と呼ばれる仏壇装飾用の金具作りの技術を使い、作ります
▶**申込期限**…2月2日(金)

蒔絵小物入れ作り

▶**とき**…2月24日(土)午前10時～正午
▶**内容**…「蒔絵」の技術を使い、漆や金粉などで絵を描き、アクセサリーなどを入れる小さな木箱を作ります
▶**申込期限**…2月16日(金)

◆**各コース共通事項**

▶**講師**…三条・燕・西蒲仏壇組合
▶**対象**…小学生以上（小学1年生～3年生は保護者同伴）
▶**定員**…20人（申し込み多数の場合は抽選）
▶**参加費**…1,000円（材料代）

冬の大崎山自然観察教室の参加者募集

グリーンスポーツセンター　☎(38)3968

冬の大崎山でかんじきを履き植物や動物の足跡を観察します。お昼にはもちをつき、大崎山で採れたキノコ汁で、雑煮を食べましょう。

▶**とき**…２月４日㈰午前９時30分
▶**ところ**…グリーンスポーツセンター
▶**対象**…小学生以上（小学生は保護者同伴）
▶**定員**…30人（申し込み順）
▶**参加費**…300円（保険代ほか）
▶**服装**…雪遊びのできる服装、防寒具など
▶**申込開始日**…１月４日㈭

くらしの講座 第三講 受講者募集

井栗公民館　☎(38)3835

▼**とき**…２月20日㈫午後１時30分～３時
▼**講師**……水科江利子さん
▼**演題**…自分をみせる色づかい
▼**定員**…30人（申し込み多数の場合は抽選）
▼**申込期限**……２月８日㈭

雪のまち映画のつどい2007 前期

中央公民館　☎(32)4811

楽しい映画鑑賞会に出掛けませんか。入場無料で、申し込みは必要ありません。パンフレットは市内各公民館にあります。

▼**とき・上映作品**…表の通り

とき	上映作品
1月10日㈬	・アニメ清水次郎長伝浪曲紀行「石松金比羅代参」 ・「いのち輝くとき」
1月17日㈬	・アニメ清水次郎長伝浪曲紀行「石松三十石船」 ・「ネパールの大地に生きて」
1月24日㈬	・アニメ清水次郎長伝浪曲紀行「石松と身受山鎌太郎」 ・「水害発生　そのとき!」
2月7日㈬	・アニメ清水次郎長伝浪曲紀行「石松と都鳥一家」 ・「毎日通る道だけど」

＊時間はいずれも午後１時30分～３時ころ

国際理解講座「とことん韓国」

中央公民館　☎(32)4811

▼**とき・内容**……表の通り
▼**講師**…新潟県国際交流員 張鉉洙（ちゃんひょんす）さん
▼**対象**……20歳以上の方
▼**定員**……30人（申し込み順）
▼**参加費**……五百円
▼**申込開始日**……１月９日㈫

とき	テーマ	内容
２月８日㈭	韓国の概要	国の概要、韓国人の生活・文化・言葉など
２月15日㈭	韓国の食文化	韓国の家庭料理、季節料理、若者に人気のある料理などをパワーポイントを使って紹介
２月22日㈭	ハングル、韓国について	ハングルの基本的仕組みおよび文の構造を簡単な会話とともに紹介、韓国に対する質問

＊時間はいずれも午後７時～８時30分

4地区公民館合同事業「ゲーム運動会」

大崎公民館　☎(38)2175

みんなで体を動かして、室内ゲームを楽しもう。

▼**とき**…１月27日㈯午前10時～正午（午前９時30分受付開始）
▼**ところ**…総合福祉センター
▼**対象**……小・中学生
▼**定員**…120人（申し込み多数の場合は抽選）
▼**参加費**……四百円
▼**申込期限**……１月17日㈬
▼**申し込み**…
・井栗公民館　☎(38)3835
・本成寺公民館　☎(33)0152
・大崎公民館　☎(38)2175
・保内分館　☎(38)5141
・大島公民館　☎(33)0097

手作り教室「木目込み人形作り」

中央公民館 ☎(32)4811

男女ペアの木目込み人形を作ってみませんか。

▼**とき**…2月21日㈬、28日㈬、3月14日㈬（全3回）午後1時30分～3時30分
▼**ところ**……大島公民館
▼**講師**……堀寿子さん
▼**定員**……12人（申し込み順）
▼**参加費**…七千円（材料代ほか）
▼**申込期間**…1月9日㈫～26日㈮

ふれあい陶芸教室

中央公民館 ☎(32)4811

陶芸でおひな様や好きな小物を作ってみませんか。

▼**とき**…2月4日㈰、18日㈰（全2回）午前9時30分～正午
▼**ところ**…総合福祉センター
▼**内容**……形作り、絵付け
▼**対象**…小・中学生と保護者
▼**定員**……20人（申し込み順）
▼**参加費**……1人五百円
▼**講師**……三条陶芸会員
▼**申込方法**…参加費を添えて申し込みください
▼**申込開始日**……1月8日（月・成人の日）

特別展「幻の窯（かま）保内 成沢焼展」

歴史民俗産業資料館 ☎(33)4446

明治期、上保内成沢の地で、陶磁器が生産されていました。その技術は、京都の清水焼職人から指導を受けたと伝えられています。

水がめ・すり鉢などの生活雑貨や美術的価値の高い製品も作られました。

今回は現存する数少ない成沢焼をメーンに、高安寺で生産された高安寺焼も併せて展示します。

▼**とき**…1月20日㈯～2月25日㈰

スポーツ

体育施設の無料開放

社会体育課体育振興係 ☎(45)1114内線235

総合体育館

▼**とき**…1月13日㈯午前9時～正午
▼**利用種目**…バドミントンほか
▼**とき**…1月16日㈫午後6時～9時
▼**利用種目**…バドミントンほか

栄体育館

▼**とき**…1月26日㈮午後6時～9時
▼**利用種目**…ユニホッケーほか

下田体育館

▼**とき**…1月30日㈫午後6時～9時
▼**利用種目**……卓球ほか
＊いずれも体育指導委員が指導します

市民プール ☎(34)2217

▼**とき**…毎週土曜日、午前10時～午後8時
▼**対象**……小・中学生
＊水泳キャップとロッカー代二十円を持参してください

市民球場 ☎(32)8911

▼**とき**…1月13日㈯午前9時～正午
▼**対象**……小・中学生
▼**定員**……50人
＊グローブのある方は持参してください

新春ソフトバレーボール大会参加チーム募集

社会体育課体育振興係 ☎(45)1114内線235

▼**とき**…2月11日（日・建国記念の日）午前8時30分
▼**ところ**……総合体育館
▼**対象**…市内にお住まいまたはお勤めの方
▼**チーム編成**…男女混合で、監督1人（兼選手可）、選手8人の9人以内で編成
▼**部門**…
・ファミリーの部（小学生の子供2人および大人男女各1人で競技）
・成年の部（39歳以下の男女各2人で競技）
・壮年の部（40歳以上の男女各2人で競技）
▼**申込期限**…1月31日㈬午後5時
▼**申し込み**…社会体育課、体育文化センター、下田体育館

第2回 県央地域中学校バスケットボール大会

社会体育課体育振興係 ☎(45)1114内線234

県央地域の中学生が熱戦を繰り広げます。多数の観戦をお待ちしています。

▶**とき**…1月21日㈰午前8時10分～
▶**ところ**…総合体育館および第三中学校体育館

第2回ドッジボール交流会参加チーム募集

社会体育課体育振興係
☎(45)1114内線232

あつまれ！元気な小学生

▼**とき**…2月12日（月・振替休日）午前9時
▼**ところ**……総合体育館
▼**対象**……小学生
▼**チーム編成**…選手20人以内、監督1人、コーチ2人以内、マネージャー2人以内
▼**部門**…
・低学年の部（1・2年生）
・中学年の部（3・4年生）
・高学年の部（5・6年生）
▼**参加費**……1人五十円
▼**申込期限**……1月31日㈬
▼**申し込み**…社会体育課、体育文化センター、下田体育館

第2回市民総合体育祭 市民スキー・スノーボード大会参加者募集

社会体育課体育振興係
☎(45)1114内線234

▶**とき**…2月11日（日・建国記念の日）午前9時（現地集合）
▶**ところ**…八海山麓（さんろく）スキー場
▶**スキー種目**…大回転競技（高校生以上は2回滑走）
▶**競技区分（13区分）**…
・小学生男子（低学年）
・小学生女子（低学年）
・小学生男子（高学年）
・小学生女子（高学年）
・中学生男子
・中学生女子
・高校生男子
・高校生女子・一般女子
・青年男子1部（18歳～29歳）
・青年男子2部（30歳～39歳）
・壮年男子1部（40歳～49歳）
・壮年男子2部（50歳～59歳）
・壮年男子3部（60歳以上）
▶**スノーボード種目（高校生以上は2回滑走）**
▶**競技区分（ハードブーツの部・ソフトブーツの部）**…
・小学生男子
・小学生女子
・中学生男子
・中学生女子
・高校生男子・一般男子
・高校生女子・一般女子
▶**対象**…小学生以上で市内にお住まいまたはお勤めの方、三条スキークラブ員
▶**参加費**…小・中学生500円、高校生以上1,000円（保険料など）
＊交通費、リフト券は個人負担となります
▶**申込期限**…2月2日㈮、参加費を添えて申し込みください
▶**申し込み**…社会体育課、体育文化センター、下田体育館

丸井今井邸使用再開のお知らせ

生涯学習課文化振興係　☎(45)1113内線248

昨年6月の火災類焼による復旧工事が完了しましたので使用を再開します。使用中止によりご迷惑をお掛けしましたが、これまで以上の利用をお待ちしています。

▶**使用再開日**…1月5日㈮
▶**問い合わせ**…丸井今井邸保存会☎(32)3263

くらし

図書館休館のお知らせ

図書館　☎(32)0657

図書館本館、栄・下田分館は、2月1日㈭から9日㈮まで特別整理期間のため休館します。嵐南公民館分室、漢学の里分室は、期間中業務を停止します。ご迷惑をお掛けしますが、休館中の返本は「夜間・休日返本ポスト」をご利用ください。

大島公民館臨時休館

大島公民館　☎(33)0097

1月9日㈫から26日㈮までアスベスト除去工事のため臨時休館します。利用者の皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、この期間の公民館使用許可申請手続き、事業の申し込みなどは、中央公民館☎(32)4811で受け付けます。

税務課からのお知らせ

償却資産申告書の提出は1月31日㈬まで

税務課資産税係
☎内線202

１月１日現在で償却資産（機械、器具、備品など）の所有状況を毎年申告することになっています。

▶**対象**…会社または個人で工場や商店などを営む方

＊申告書が届かない方や、平成18年中に新たに償却資産を所有した方は、税務課へ申告書を請求してください

家屋を取り壊したときは届け出を！

税務課資産税係
☎内線208

平成18年中に取り壊した家屋については、平成19年度からの固定資産税は課税されません。

該当する家屋がある方は届け出ください。

給与支払報告書の提出はお早めに

税務課市民税係　☎内線204

平成18年中に給与を支払った法人・個人はその金額にかかわらず、給与支払報告書を作成し、提出してください。

給与支払報告書は平成19年度の市・県民税が計算されるほか、各種証明などの大切な基礎資料となります。国籍を問わず、正社員、パートタイマー、年の途中で退職した方などすべての方の提出をお願いします。

あなたの住宅用地は変わっていませんか

税務課資産税係
☎内線201

住宅用の土地については、税の負担を軽くするための「住宅用地に対する課税標準の特例措置」が適用されています。

住宅が建っている土地と、店舗・工場が建っている土地では、評価額が同じでも税額は違ってきます。

特例措置を正しく適用するために、平成18年中に家屋の用途を変更した方は申告してください。

◆共通事項

▼**申告・提出期限**…1月31日㈬

▼**提出先**…税務課、栄サービスセンター総務課☎(45)4111、下田サービスセンター総務課☎(46)2511

成人式は3月21日㈬春分の日

生涯学習課生涯学習係
☎(45)1113内線247

対象者には案内状を2月上旬に送付します。

学業や勤務などの関係で市外に住所を異動された方も出席できます。案内状の送付を希望する方は1月31日㈫までに連絡ください。

▼**対象**…昭和61年4月2日から昭和62年4月1日までの間に生まれた方

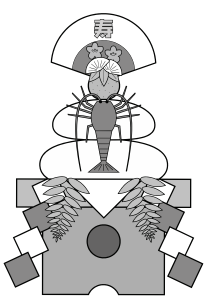
▼**ところ**…県央地域地場産業振興センター

○今月の税金・料金

▼**市県民税**……第4期
▼**国民健康保険税**…第10期
▼**介護保険料**……第10期
▼**保育料**……1月分
▼**市営・県営住宅使用料（駐車料）**…1月分

1月31日㈬までに、忘れずに納めましょう。

口座振替の方は、1月31日㈬に振り替えさせていただきますので、前日までに残高を確認してください。振り替えできなかった場合は、通知書を送りますので金融機関で納めてください。



納税の義務を果たして　良い社会

平成18年度市内中学校標語入選作品

下田中　大竹　健さん

「はたちの献血」キャンペーン実施中

健康推進課健康づくり係　☎内線437

～1月1日(月・元日)から2月28日㈬まで全国一斉に実施～

新たに成人式を迎える「はたち」の皆さん、「献血」を知っていますか。家族や友人など身近な人で、輸血をした人がいますか。医療に使われる血液は人工的に作ることはできません。すべて善意の献血で賄われています。冬期間は献血者が減少するため、皆さんのご協力をお願いします。

県内では、献血バスが各市町村を巡回しているほか、3カ所の献血ルームでは毎日受け付けています。

●県内の献血ルーム

・東堀献血ルーム…新潟市東堀通7番町1016－1

・献血ルームばんだいゆとりろ…新潟市万代1－4－33

・長岡きたまち献血ルーム…長岡市喜多町1113－1

冬期間の消防水利と避難口の確保にご協力を

消防本部警防課　☎(34)1111内線208

火災が発生したときは、近くの消防水利（消火栓・防火水槽）から放水します。消防水利が雪や駐車車両の下になっていると、消火活動の支障になり、被害が大きくなります。消防水利の確保をお願いします。

雪下ろしなどで家屋の出入口にできる雪壁が障害になり、火災現場から逃げ遅れ、緊急避難ができないことがありますので、常に非常口を2方向以上確保しましょう。

1月6日(土)消防出初式

消防本部警防課
☎(34)1111内線220

消防車両35台による市中パレード

▶**時間**…午前8時35分～午前9時

▶**経路**…

・消防本部→第2産業道路→市役所前通り→第1産業道路→東三条駅前→一ノ木戸商店街→中央商店街→県道新潟・小須戸・三条線→消防本部

・厚生福祉会館前では市長の観閲

高層建物総合訓練

▶**時間**…午前9時25分～9時35分

▶**ところ**…消防本部訓練場

▶**内容**…消防隊、救助隊、救急隊による総合訓練

＊三条・栄・下田各消防団は1月7日(日)に実施。三条西分団は8日（月・成人の日）に実施

男女共同参画トピックス

地域振興課男女共同参画担当　☎内線313

男女共同参画社会とは5本のや

やわらかい社会
柔軟な発想、多様な個性を柔軟に受け入れる。

やりたいことができる社会
男女がともに個性、能力を発揮できる。さまざまな生き方、働き方ができる。

やり直しのきく社会
再チャレンジができる。さまざまな生きがいを見つけられる。

やすらぎのある社会
仕事と家庭が両立しやすい働く環境（ワーク・ライフ・バランス）

やさしく楽しい社会
男女が分かり合い、優しくなれる。男女一緒に楽しくやれる。

＊毛利元就の「三本の矢」の教えをもじって作ってみました

家庭でできるノロウイルス対策

健康推進課健康づくり係　☎内線245

― ノロウイルスの予防Q＆A ―

Q１．ノロウイルスの発生しやすい時期は？

A．１年を通して発生しますが、冬期に多発する傾向があります。

Q２．感染経路は？

A．ほとんどの場合、口から体内に入ることで感染します。

Q３．症状は？

A．下痢、嘔吐（おうと）、腹痛、軽い発熱などです。通常は２～３日で回復しますが、乳幼児や高齢者など体の弱っている人が感染すると重症になることがあります。体調が悪いときは、早めに医師の診察を受けましょう。

Q４．予防するには？

A．①感染予防の基本は手洗いです。調理前、食事前や用便後はせっけんで十分洗い流しましょう。

②「カキ」などの二枚貝は生で食べることを避け、十分に加熱調理しましょう。

③果物や生野菜も数回水を換え、十分洗いましょう。

④調理器具は使用後よく洗浄し、0.02㌫次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒しましょう。

⑤小さなお子さんのいる家庭では、おもちゃも週１回程度消毒しましょう。

Q５．ノロウイルスに感染してしまったら？

A．①下痢便や嘔吐物から二次感染します。処理には使い捨て手袋などを使い、ペーパータオルなどで包み込み、ビニール袋に密閉し処理します。便や嘔吐物で汚れた床は0.1㌫次亜塩素酸ナトリウム溶液を含ませた布で覆い、10分程度放置した後、水ふきします。処理後は必ずせっけんを使って手を洗いましょう。

②家の中で、人の手に触れる物は感染経路になる可能性があります。トイレ、手すり、ドアノブ、ベッド回りなどは0.1㌫次亜塩素酸ナトリウム溶液でふいたあと、水ふきしましょう。

③汚染した衣類やシーツは汚物を十分に落とし、0.02㌫次亜塩素酸ナトリウム溶液に1時間浸して消毒したあとに洗濯を行いましょう。

④下痢、嘔吐などの症状があり、感染した人や、感染が疑われる人の入浴はできるだけ控えましょう。

Q６．ノロウイルスにはどんな消毒薬が効きますか?

A．次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤）が効きます。市販の家庭用塩素系漂白剤の原液の濃度は５㌫前後です。日ごろの調理器具やおもちゃの消毒には、市販の漂白剤12㍉㍑に水を加え３㍑に薄めて使います。下痢や嘔吐した個所のふき掃除などの消毒には市販の漂白剤60㍉㍑に水を加えて３㍑とします。詳しくは漂白剤に添付されている取扱説明書をご覧ください。

ソレイユ パソコン教室

ソレイユ三条（勤労青少年ホーム）　☎(32)3362

▶**講師**…ソレイユネット
（勤労青少年ホームパソコンサークル）

▶**定員**…各20人（申し込み順）　＊最少開講人数４人

	日　程	講　座　名	受講料
子ども	2月17日㈯午前10時～正午	子どもパソコン教室（パソコンで絵を描こう）	500円
一般向け講座	2月1日～20日（火曜・木曜日、全6回）午前10時～11時30分	ワードのんびり講座（後編）	7,000円
	2月1日～20日（火曜・木曜日、全6回）午後1時～2時30分	エクセルのんびり講座（後編）	7,000円
	2月1日～20日（火曜・木曜日、全6回）午後3時～4時30分	エクセルのんびり講座（前編）	7,000円
	2月2日～21日（水曜・金曜日、全6回）午前10時～11時30分	メール・インターネットのんびり講座	7,000円
	2月2日～21日（水曜・金曜日、全6回）午後1時～2時30分	ワードのんびり講座（前編）	7,000円
	2月2日～21日（水曜・金曜日、全6回）午後3時～4時30分	パソコン初心者のんびり講座（基本操作編）	7,000円
青年講座	2月7日～28日（水曜日、全4回）午後7時20分～9時	文字入力だけでできるブログ講座	5,000円
	2月2日～23日（金曜日、全4回）午後7時20分～9時	パソコンで帳簿や確定申告体験講座	5,000円
相談教室	2月20日㈫午後5時～6時	パソコン＆インターネット何でも相談室	100円

＊開講日の１週間前に申込者が４人未満の場合は、中止することがあります

新たな子育て支援「サンキッズカード事業」協賛店の募集について

社会福祉課子育て支援室　☎内線466

市では、多くの子供を育てる家庭を、地域ぐるみで応援することを目的に、７月１日から開始を予定するサンキッズカード事業の協賛店を募集します。

●事業の概要

18歳未満の子供を３人以上養育する保護者２名（対象は約1,500世帯）に対して、サンキッズカード（住民基本台帳カード）を交付します。市民プールなど市の施設利用料の減額のほか、協賛店として登録いただいたスーパーや商店などで、商品の割引や特典などのサービスを提供する事業です。

●協賛店のメリット

市ホームページや、市が提供する地図情報システムに、店舗情報を掲載します。

●協賛店の要件

市内に事業所がある法人や個人商店などで、サービスの提供が可能であれば、協賛店として登録できます。また、提供したステッカー（Ａ４版サイズ）を掲載できます。

●申込方法

申込書に必要事項を記入の上、ファクス、Ｅメールまたは持参により申し込みください。

●申込期限

４月30日

＊その後も随時受け付けます

●申込書用紙

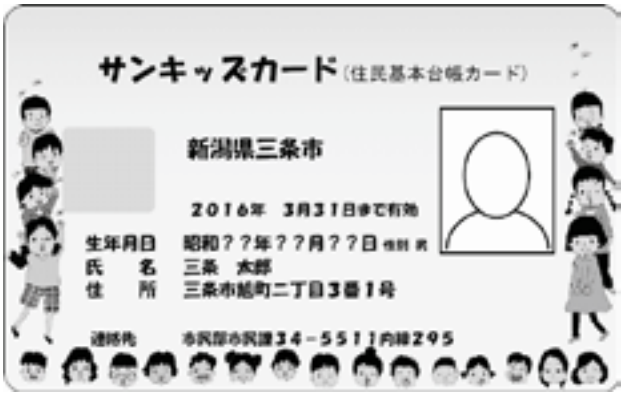
社会福祉課、各サービスセンター福祉保健課に備え付けてあるほか市ホームページからダウンロードできます

●申し込み・問い合わせ

社会福祉課、栄サービスセンター福祉保健課☎(45)４１１１内線１３３、下田サービスセンター福祉保健課☎(46)５９０７、ファクス☎(35)２１５０、Eメールsunkidscard@city.sanjo.niigata.jp

＊サンキッズカードの申請受け付けは、３月からを予定しています。詳細内容は、広報さんじょう、市ホームページなどでお知らせします

サンキッズカード



協賛店のステッカー

パブリックコメント

3つのパブリックコメントに意見をお聞かせください

三条市個人情報保護条例（案）

問い合わせ　地域振興課広報広聴室　☎内線308

市では、自己の個人情報に対する利用停止の請求とその方法、停止義務とその措置、個人情報の漏洩および不正使用を行った者に対する罰則規定を改めるための条例の改正を行います。

◆**案件名**……個人情報保護条例（案）
◆**提出期間**……1月12日㈮～26日㈮
◆**提出先**……地域振興課、ファクス☎(34)7933、Eメールkoho@city.sanjo.niigata.jp
◆**詳細内容**…条例（案）は、地域振興課、市ホームページ、市役所および栄・下田サービスセンター情報公開コーナー、市民課、図書館、各公民館でご覧になれます

●三条市個人情報保護条例（案）

第1章　総則
第2章　実施機関が取り扱う個人情報の保護
第4章　罰則
その他　付随する三条市情報公開条例の一部改正

三条市観光基本計画（案）

問い合わせ　観光課観光係　☎(46)5904

市では、地域資源を有効に生かした観光の将来ビジョンを確立し、各種観光施策を効果的に実施していくための「三条市観光基本計画（案）」を策定します。

◆**案件名**……観光基本計画（案）
◆**提出期間**…1月29日㈪～2月13日㈫
◆**提出先**…観光課、ファクス☎(46)5060、Eメールkanko@city.sanjo.niigata.jp
◆**詳細内容**…計画（案）は、観光課、市ホームページ、市役所および栄・下田サービスセンター情報公開コーナー、市民課、図書館、各公民館でご覧になれます

●三条市観光基本計画（案）

第1部に観光振興方策検討にあたっての基本的方向を示しました。
第2部は基本方針（案）を示しました。

1　観光資源の魅力向上のあり方
2　まつり・イベントなどの魅力向上のあり方
3　観光資源相互のつなげ方
4　観光振興を支援するまちづくりのあり方
5　計画実現推進方策
6　観光振興戦略テーマおよびリーディングプロジェクト
7　三条市観光振興の将来目標と経済効果
8　推進シナリオ

三条市生涯学習推進計画（案）

問い合わせ　生涯学習課生涯学習係　☎(45)1113内線242

市では、市民一人ひとりが生涯にわたり「いつでも、どこでも、だれでも」学び合える生涯学習の機会や場を提供し、心豊かで生きがいのある生活を営むことができる生涯学習社会の実現を図るため、生涯学習推進計画（案）を策定します。

◆**案件名**……生涯学習推進計画（案）
◆**提出期間**……1月4日㈭～24日㈬
◆**提出先**…生涯学習課、ファクス☎(45)1130、Eメールshougai@city.sanjo.niigata.jp
◆**詳細内容**…計画（案）は生涯学習課、市ホームページ、市役所および栄・下田サービスセンター情報公開コーナー、市民課、図書館、各公民館などでご覧になれます

◎パブリックコメント意見提出方法

パブリックコメントとは、市民に広く関係する計画などについて案を公表し、それに対する意見を考慮し、市の意思決定を行うものです。どなたでも意見を提出できます。市では提出された意見などに対する考え方をまとめ、提出された意見と合わせて公表します。

◆**提出方法**…意見を提出される方は、住所、氏名（法人または団体の場合は名称、代表者の氏名、主たる事務所の所在地）、電話番号を記入の上、郵便、ファクス、Eメールまたは持参により提出してください
＊電話での意見は受け付けできません

写真でスケッチ

初めてのパパとママの子育て学級・両親学級
（福祉センター）　12月9日㈯

大崎中学校区心と学びのフォーラム
（中小企業大学校）
12月9日㈯

ジュニア・Worldクッキング第2講
「カナダのおやつ作りに挑戦!!」
（農村環境改善センター）12月16日㈯

女性セミナー・フラワーアレンジ
（産業開発センター）
12月11日㈪

中学生フットサル大会（総合体育館）
12月9日㈯・10㈰

ふれあいトーク（本成寺公民館月岡分館）
12月10日㈰

シリーズ
健康づくり
第2話

脂肪燃焼でカラダ改造！

健康推進課健康づくり係　☎内線498

最近よく耳にするメタボリックシンドローム…このメタボリックシンドロームのベースになるのが脂肪の蓄積、つまり肥満です。

ところで、当市には肥満の人がどのくらいいるのでしょうか。平成17年度の基本健康診査の結果からみると、男性25・4㌫、女性21・6㌫、平均22・9㌫が肥満です。なかでも、中・高年の男性は、内臓に脂肪がたまる「りんご型肥満」が多く特に注意が必要です。この内臓脂肪はたまりやすい反面、普段の生活習慣を見直すだけで減らせる脂肪です。

では、どうすれば肥満を予防できるのでしょうか？答えは〝基礎代謝の向上〟です。生きていくうえで必要な最低限の消費エネルギーを基礎代謝といい、1日で消費するエネルギー量の6～7割を占めます。基礎代謝を高めることが、肥満の予防になります。

では、どうしたら基礎代謝を高めることができるのでしょうか？答えは〝筋肉〟を増やすことです。最近「食べる量は変わらないのに太って困る」という人がいますが、その原因は年齢とともに筋肉量が減少し、基礎代謝が低くなるためです。

日常生活の中でも、ちょっとした工夫で筋肉を鍛えることができます。

例えば「エレベーターではなく階段を使う」「階段を1段跳ばしで上がる」「つま先立ちで歩く」などです。

自宅でも、家事の合間やテレビを見ながらできる手軽な筋力トレーニングを取り入れ、日常生活のさまざまな場面で生活習慣を見直し、肥満の予防・改善に心掛けましょう。

●簡単な筋力トレーニング〈スクワット〉

スクワットは太もも、おしり、大腰筋などを中心に基礎代謝の向上に大切な、大きな筋肉を鍛えます。いすなどを支えにしながら、正しい姿勢を意識して呼吸を止めずにゆっくりと行いましょう。

1　肩幅に脚を開き、つま先を前に向けます。
2　ひざがつま先よりも前にでないように注意し、腰を折り曲げてお尻をつき出すように腰を落としていきます。
3　初めはひざの角度は気にせずに、慣れてきたら90度になるくらいまで腰を落としていきます。
4　腰を落とす時、上げる時、特に太ももとお尻に意識を向けて行います。

シリーズ
三条遺跡物語
第4話

～五十嵐川のサケ　中土遺跡～

生涯学習課文化振興係
☎(45)1113内線294

年夜にサケを頂いた人も多いことでしょう。秋の終わりに、産卵のため海から川に上ってくるサケは、古くから人々の暮らしを支えた重要なタンパク源でした。では、食料としてサケが捕られたのは、いつごろからでしょうか。その答を教えてくれるのが、全国的にも有名な中土遺跡（長野）です。中土遺跡は今から一万三千年前の旧石器時代末、細石器文化の遺跡です。

細石器文化の主要な石器、細石刃はかみそりの刃のように小さく鋭いもので、いくつかを組み合わせて槍や銛の先に付けて使い、サケなどを捕っていたと想像されます。また中土遺跡は五十嵐川と守門川の合流点に近く、合流点はサケの産卵に最適な場所でした。ほかの細石器文化の遺跡も川の合流点で多く見つかっているため、サケと細石器文化の遺跡は深いかかわりがあったと考えられます。

五十嵐川のサケは現在、下流で一括採捕されて上流にはあまり上りませんが、大正時代の記録に、中土遺跡の周辺でサケが捕獲されていたことが書かれています。産卵に適した自然な河川に、大量に遡上していたものと思われます。またサケは寒冷な水温を好み、多くは北海道から富山県までの川に遡上します。中土遺跡で出土している細石刃の作り方も北海道から富山県までの地域で、同じ作り方をします。このことから、これらの地域の生活をサケが支えていた可能性があります。大型魚のサケは、肉の量が多く質も良く、皮まで利用できることから、なくてはならない食糧源だったのでしょう。大量に遡上してくるサケの捕獲には労力を必要とせず、この時代の人がほっておくはずがありません。

中土遺跡は良い漁場のそばに構えられた集落で、秋には村人総出のサケ漁が行われ、乾物や薫製作りに精を出す光景が想像されます。この遺跡は、母なる川、五十嵐川から大量に捕れた自然の恵みを受けられる絶好の場所だったのではないでしょうか。

縄文時代のサケ漁想像図

（青森県立郷土館）

飯田小学校PTA冬まつり

寒くなると運動をする機会が少なくなり、テレビゲームなど室内で過ごすことが多くなります。そのため、屋外での遊びを見ることはほとんどありません。そこで、飯田小学校PTA保体部では、昨年の12月17日に「冬まつり」と題し、体を動かし親子が一緒に楽しむレクリエーションを企画しました。生涯学習ボランティア（室内レクリーダー）から楽しい遊びを教えてもらい、大人31人、子ども43人が体育館中を駆け回り、とても楽しそうにしていました。特に印象的だったのは、ダイコン引きゲームでした。このゲームは、ダイコンになっている大人を子どもたちみんなで力を合わせ、一人ひとり抜いていきます。子どもたちは体を思い切り使って遊ぶことがやっぱり好きなんですね。これからも、体を動かすことの大切さを学んでいくことでしょう。

ちびっこ広場（クリスマス会）

市では、保育所・幼稚園入所前の子どもたちと保護者を対象に、親子遊びや季節の行事、育児相談などを目的に、気軽に参加できる親子広場を、三条・栄・下田地区でそれぞれ開催しています。昨年の12月14日に栄保健センターで開催されたちびっこ広場には33組の親子が参加し、クリスマスツリーを作りました。みんなで描いた塗り絵を上手に切り、自由に貼り付けました。参加者からは「家で作るのも楽しいけど、みんなで一緒にツリーを作れてとても楽しかった。」「今回初めて参加したが、予想以上に参加者が多くて驚いた。おばあちゃんたちもいて、子育ての話を聞いたり、いろいろ相談したりして仲良くなれた。次回も参加したい。」など、とても楽しんでいる様子でした。興味のある方は、ぜひ一度足を運んでみませんか。

いつまでもお元気で

体育文化センターの屋内ゲートボール場は、冬場など頻繁に使用されています。ゲートボールは、今から20年以前に流行の兆しが表われ、優勝を争うなど競技性がある反面、力まず気軽に参加でき、適度な運動にもなることから、中高年を中心に、急激に競技人口が増え続けていました。しかし、ここ数年、高齢などを理由に全国的に減少する傾向が続いています。県内でも、一部を除き減少していて、「当市のゲートボール連盟も、新規加入者３人に対し10人ほどがリタイヤしている状態で、減少傾向に歯止めを掛けることができない。」と会長。そのため、新規加入者を対象に講習会を開催し、ゲートボールの楽しさと健康の大切さを実感してもらい、いつまでも元気になりましょうと呼び掛けています。

地域ぐるみで子どもを見守る「つくしっ子クラブ」

子どもたちの楽しそうな声、地域の大人との触れ合い。今、必要とされている、放課後などの子どもの居場所対策が、地域の協力のもとで開催されています。毎週、水曜日の放課後と土曜日の午前中、地域のボランティアスタッフ約45人が交代で運営しています。昨年の１月18日に開設以来、１回当たり約60人の子どもたちが参加をしています。この日は、クリスマスもちつきパーティーが開催され、みんなで力を合わせ15升のもちをつきました。國定市長も参加し、「ちゃんと並んで。」とボランティアの一員として笑顔で子どもたちと触れ合っていました。子どもを見守るスタッフを募集しています。ぜひ、つくしっ子クラブ（☎(33)0162）または、生涯学習課（☎(45)1113）へご連絡ください。

ミニ情報

■県立月ヶ岡養護学校作品展

学校紹介や児童生徒の作品展示、作業製品の販売を行います。

●「校内作品展」

▼**とき**…1月19日㈮、22日㈪午前10時～午後5時（22日は午後12時まで）

▼**ところ**…県立月ヶ岡養護学校

●「学校展」

▼**とき**…2月3日㈯・4日㈰午前10時～午後5時（4日は午後4時まで）

▼**ところ**……県央サティ2階

▼**問い合わせ**…**県立月ヶ岡養護学校　玉根**☎(32)5963

■分水桜まつりおいらん道中「おいらん役」大募集！

さくら名所百選の地、大河津分水で行われる「第66回おいらん道中」のおいらん役を募集します。

▼**募集する役**…信濃太夫、桜太夫、分水太夫、染井吉野太夫、夜桜太夫役を1人ずつ計5人（染井吉野太夫は撮影用の、夜桜太夫は前夜祭のおいらん役です）

▼**応募資格**…18歳以上（高校生は除く）で身長150㌢㍍くらいの健康な女性（未婚・既婚・住所は問いません）

▼**応募方法**…住所、氏名、電話番号、身長、年齢を記入の上、L版サイズのカラー写真2枚（上半身の正面、側面を各1枚）を同封し郵送または持参してください

＊写真は返却しません

▼**応募期間**…1月9日㈫～2月9日㈮必着

▼**その他**…

・それぞれの役は応募者の中から書類選考のうえ二次審査（面接）で決定します

・おいらん役の方には、夜間3回の練習と公園開きなどの行事に参加していただきます

▼**今年のおいらん道中予定日**…

・前夜祭…4月14日㈯

・おいらん道中…4月15日㈰

▼**応募・問い合わせ**…**燕市分水地区観光協会**　〒959－0195燕市分水桜町3丁目3－1（燕市役所分水庁舎内）☎(97)2111内線222

■第18回日本海カップ綱引選手権大会出場チーム募集

力自慢集まれ！1本の綱にチームの力を集めて、熱い戦いをしてみませんか。

▼**とき**…2月11日（日・建国記念の日）午前8時30分計量、午前10時開会式

▼**ところ**…新発田市カルチャーセンター

▼**参加資格**…心身ともに健康な男女、1チーム8人以上

▼**競技種目**…

・男子チャンピオンの部…600㌔以下

・一般の部…600㌔以下

・女子の部…520㌔以下

・男女混合の部…560㌔以下

・大人子供ふれあいの部…体重制限なし

・ジュニアの部（小学生）…体重制限なし

＊詳しくは問い合わせください

▼**参加費**…

・一チーム…三千円

・大人子供ふれあいの部、ジュニアの部…千円

▼**申込期限**……2月2日㈮

▼**問い合わせ**…**新発田市綱引連盟事務局　高橋浩幸**☎025(29)2808、ファクス025(29)2902

■各種労働相談

長岡地域振興局では、労使関係の安定や労務管理の改善を図るため、各種事業を実施しています。

●**労働相談**

中小企業を中心とした労使および県民からの労働問題全般について、相談に応じ、必要な助言、指導を行います。専門性の高い相談の助言については、弁護士や産業カウンセラーによる予約制相談を実施しています。相談は無料、秘密は厳守され、電話でも利用できます。

▼**相談時間**…月～金曜日（土・日、祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分

▼**ところ**……長岡地域振興局

▼**相談専用電話番号**…☎0258(37)6110

●**中小企業労働施策アドバイザーの派遣**

中小企業を対象に、人事・労務管理の改善に関する助言や指導を行う社会保険労務士を無料で派遣します。

●**RCS（社内コミュニケーション診断）の実施**

RCS（厚生労働省方式社内コミュニケーション診断）を無料で実施します。

▼**問い合わせ**…**長岡地域振興局企画振興部労政課**☎0258(38)2546

■将棋会員募集

将棋同好会（会員23人）では、1月7日㈰に第一回例会を開催します。一緒に将棋を指しませんか。

▼**会費**……年間三千円

▼**月例会**……4回

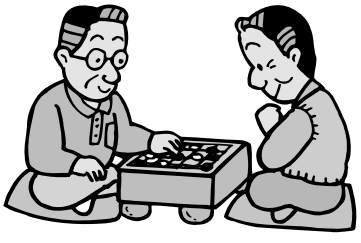
・第1・第3日曜日　午後1時～5時

・第2・第4土曜日　午前9時～午後5時

▼**ところ**…農村環境改善センター

▼**講師**…元新潟県名人　笹川保さん

▼**連絡先**……**川上**☎(45)5448



あいどる登場

曲渕１丁目
平成17年5月23日生
富永駿（しゅん）
お母さんのひとこと
笑顔のかわいい駿、
元気に育ってね

東三条１丁目
平成17年5月27日生
桐生隆慈（たかなり）
お母さんのひとこと
元気いっぱい遊んで
笑って大きくな〜れ

蔵内
平成17年5月9日生
石田美心（こころ）
お母さんのひとこと
３姉妹いつまでも
仲良くね

ひと・まち 市民プラザ

まち美化ボランティア活動団体①
北入蔵寿会

問い合わせ
佐藤
☎(38)3146

平成16年3月に「ごみのないまちづくり」に協力しようと「まち美化ボランティア」に登録し、同年5月から北入蔵地内の道路の清掃活動を始めました。

活動は、5月から11月までの毎月1日に実施し、現在69人の会員のうち清掃活動には毎回20人くらい参加してくれます。会員の中には足腰が弱い人もいますが、手押し車を押しながら参加してくれます。会としては道路の清掃活動のほかに、

・きりおか荘の冬囲い
・三条東病院の草刈り
・春と秋に認知症の勉強会

を行っています。

活動を始めたころは、1回の清掃でボランティア袋（中袋）を20枚使用するほどのごみが出ていましたが、現在は半分の10枚で足りるほどごみの量が減っています。北入蔵自治会からは「寿会が清掃活動を始めてからポイ捨てが少なくなった」と感謝されています。

昨年は毎月の活動に加え、8月に競馬場周辺で開催された「ごみゼロウォーキング」にも10人が参加し、気温35度の猛暑の中、ごみを拾いながらのウォーキングに汗を流しました。

これからも次の3つの目標を基本に頑張っていきたいと思います。

・健康（動くことで少しでも若返り）
・友愛（友達との会話）
・奉仕（ごみのないまちづくり）

2月 FEB の相談日・休館日

市役所
☎(34)5511

	相談日	ところ	問い合わせ
行政相談	14日(水)午前9時～正午	栄寿荘	行政課行政管理係 ☎内線300
	20日(火)午後2時～4時	厚生福祉会館	
	今月は実施しません	下田サービスセンター	
市民相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前8時30分～午後5時	市民課市民係	☎内線232
		栄サービスセンター市民課	☎(45)4111 内線121
		下田サービスセンター市民課	☎(46)5906
夜間納税相談	毎週火曜日 午後5時30分～8時	収納課収納係	☎内線200
健康相談 電話育児相談	5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月) 午前8時30分～正午	健康推進課 保健指導係	健康推進課 保健指導係 ☎内線248
健康相談	5日(月)午前9時～正午	総合福祉センター	
	1日(木)午前9時～正午	下田保健センター	☎(46)5914
	19日(月)午前9時～正午	栄保健センター	☎(45)4111
精神保健福祉相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前9時～11時30分、 午後1時～4時30分 ＊1日(木)午前は休みます	ふれあいセンター青空	ふれあいセンター青空 ☎(32)4300
家族座談会	7日(水) 午後1時30分～3時30分		三条市すずね会事務局(ともしび工房内 ☎(32)1731)
精神障害者交流会・健康相談会	14日(水)、28日(水) 午後1時～5時	農村環境改善センター	栄保健センター ☎(45)4111
	19日(月)午後1時30分～3時	栄保健センター	
家庭児童相談 虐待相談 女性相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前9時～午後4時	社会福祉課子育て支援室	☎内線474
農業相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前8時30分～午後5時	農業委員会事務局	☎内線218
学習相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前8時30分～午後5時	生涯学習課生涯学習係	☎(45)1113
＊メール相談も受け付けます(gakusyusodan@city.sanjo.niigata.jp)			
青少年相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前9時～午後5時	青少年育成センター	フリーダイヤル ☎0120－123970
	18日(日)午前9時～正午 ＊16日(金)までに申し込みください		
＊メール相談も受け付けます(sodan@city.sanjo.niigata.jp)			
青少年のための職業相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 月・火曜日　午後3時～6時 水・木・金曜日 午後6時～9時 ＊事前に申し込みください	ソレイユ三条 (勤労青少年ホーム)	☎(32)3374 ファクス(32)9898 Eメール soleil@city.sanjo.niigata.jp
緑化相談	休館日を除く毎日 午前9時～午後5時	保内公園 緑の相談所	☎(38)5240 ファクス(38)5560
消費者相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前8時30分～午後5時	商工課金融労政係	☎内線212
金融相談	8日(木) 午前9時30分～正午 ＊事前に申し込みください	商工会議所	☎(32)1311
高年齢者職業相談	土曜・日曜・祝日を除く毎日 午前9時～午後5時	高年齢者職業相談室 (パルム1の5階)	☎(32)5262
心配ごと相談	毎週水曜および第4日曜日午前10時～午後4時 ＊電話相談(☎(34)1700)も行っています	総合福祉センター	三条市社会福祉協議会 ☎(33)8511
	5日(月)、19日(月) 午後1時～4時	栄寿荘	三条市社会福祉協議会栄支所 ☎(45)6491
	13日(火)、27日(火) 午前9時～正午	下田サービスセンター	三条市社会福祉協議会下田支所 ☎(46)5506
弁護士による法律相談	2日(金)、16日(金) 午後1時～4時	総合福祉センター	三条市社会福祉協議会 ☎(33)8511
	1月23日(火)午前9時から電話予約を受け付けます		
精神保健相談会	2日(金)午後2時～4時 担当　白根緑ケ丘病院 ＊前日までに申し込みください	燕市勤労者総合福祉センター	三条地域振興局健康福祉環境部 ☎(36)2363
	28日(水)午後2時～4時 担当　みるら神経内科・心療内科 ＊前日までに申し込みください	三条地域振興局健康福祉環境部相談室	

施設名	休館日
サンファーム三条	5日、13日、19日、26日
農村環境改善センター	11日
よってげ邸	7日、14日、21日、28日
保内公園緑の相談所・温室	6日、13日、20日、27日
ひめさゆり森林公園	冬期閉園
市民プール	5日、12日、19日、26日、28日
グリーンスポーツセンター	5日、13日、19日、26日
市民球場	5日、19日、26日
図書館	1日～9日、11日、12日、19日、28日
歴史民俗産業資料館	5日、13日、19日、26日、28日
諸橋轍次記念館	5日、13日、19日、26日
きりおか荘	5日、11日、12日、19日、25日、26日

きりおか号・総合福祉センター マイクロバス定期運行日

定期運行の内容が変わりました。

▷**問い合わせ…三条市社会福祉協議会**
（総合福祉センター内☎(33)8511）

（きりおか号）

2月	運行先	始発場所
14日・21日・28日（水曜日）	南四日町、四日町、本町、仲之町、東三条、荒町、栗林、三貫地、塚野目、井栗、三柳、西大崎、中新方面	総合福祉センター前（午前8時40分発）
4日・18日（日曜日）	南四日町、四日町、本町、仲之町、東三条、塚野目、井栗、須戸、西潟、三柳、上保内、柳沢、西大崎、中新方面	

（総合福祉センターマイクロバス）

2月	運行先	始発場所
5日・19日・26日（月曜日）	【第1便】 須戸・佐藤商店さん前、三竹・三条消防署東分遣所前、田島・勤労福祉会館前、曲渕・田島橋南詰め、月岡・百刈住宅前	三柳バス停前（午前9時20分発）
	【第2便】 荒町・体育文化センター前、本町六丁目・かじまちの家前、由利・由利バス停前、本成寺黒門入口バス停前	直江町三丁目バス停（午前10時10分発）

2月 FEB の健康カレンダー

問い合わせ■健康推進課（☎34-5511内線245･248）

休日緊急当番医

2月	内科系		外科系	
4日（日）	三条市林町1-20-28 いとうクリニック	☎32-5350	三条市興野2-2-25 富永草野病院	☎36-8777
11日（日）	三条市塚野目5-1-62 三条総合病院	☎32-1131	三条市塚野目5-1-62 三条総合病院	☎32-1131
12日（月）	三条市下坂井8-52 おばた内科クリニック	☎35-5600	三条市元町1-45 田中医院	☎33-0416
18日（日）	三条市大野畑6-18 済生会三条病院	☎33-1551	三条市大野畑6-18 済生会三条病院	☎33-1551
25日（日）	三条市本町5-2-30 三之町病院	☎33-0581	三条市本町5-2-30 三之町病院	☎33-0581

＊診療時間は午前９時から午後６時（正午から午後１時まで休み）

2月	内科系		外科系	
4日（日）	見附市学校町2-13-50 見附市立病院	☎0258-62-2800	見附市学校町2-13-50 見附市立病院	☎0258-62-2800
11日（日）	見附市新町1-8-3 霜鳥内科医院	☎0258-62-0579	見附市昭和町2-21-22 わたなべ皮ﾌ科ｸﾘﾆｯｸ	☎0258-62-7750
12日（月）	見附市新町2-2-5 関谷医院	☎0258-61-0205	見附市新町3-3-50 石澤医院	☎0258-62-2500
18日（日）	見附市今町6-3-45 石川医院	☎0258-66-2140	見附市柳橋町274-25 貝瀬皮膚科	☎0258-66-8100
25日（日）	見附市柳橋町274-23 林俊壱クリニック	☎0258-66-3000	見附市南本町2-18-36 見附南医院	☎0258-63-4477

＊診療時間は午前9時から午後5時（正午から午後1時までは事前に電話連絡してください）

夜間の応急診療

■三条市医師会館内 三条市救急診療所（南新保6-43）
☎32-2209
▷**診療科目**…内科、小児科
▷**診療時間**…午後７時30分～９時30分
＊診療は急患などに対しての応急の処置となります

県の休日夜間小児救急医療電話相談

▷**とき**…土曜・日曜日、祝日、年末年始（12月30日～１月３日）午後７時～10時
▷**相談電話**…☎025－288－2525
＊相談は無料です

愛の献血

2月	会場		受付時間
1日（木）	西裏館三丁目	㈱ユアテック県央営業所	午前9:30～11:30
	塚野目五丁目	三条総合病院	午後1:30～4:00
11日（日）	西裏館二丁目	ジャスコ三条店	午前10:00～午後0:15 午後1:30～4:00
23日（金）	荻堀	嵐北産業㈱	午前10:00～午後0:30 午後1:30～3:30

日本脳炎予防接種のお知らせ

平成17年度に厚生労働省から、重症の副反応と現行の日本脳炎ワクチンとの因果関係が否定できないため、積極的に接種しないよう勧告があり、引き続き接種を控えています。
ただし、接種を希望する方は、定期予防接種として接種することは可能です。

乳幼児健診など

会場／総合福祉センター

2月	行事内容	受付時間	該当する方
9日（金）	3か月児健診	午後1:15～2:15	18年10月生まれの子
15日（木）	2歳児歯科健診		17年2月生まれの子
16日（金）	2歳6か月児歯科健診		16年8月生まれの子
20日（火）	10か月児健康相談会コアラらんど	午前9:30～10:30	18年4月生まれの子
22日（木）	1歳6か月児健診と歯科健診	午後1:15～2:15	17年8月生まれの子
23日（金）	3歳児健診と歯科健診		16年1月生まれの子

会場／栄保健センター

27日（火）	3か月児健診	午後1:00～1:30	18年10･11月生まれの子

会場／下田保健センター

22日（木）	10か月児健康相談会コアラらんど	午前9:00～9:30	18年3･4月生まれの子
27日（火）	1歳6か月児健診と歯科健診	午後1:00～1:30	17年7･8月生まれの子
28日（水）	3か月児健診		18年10･11月生まれの子

＊前月の該当者で受けられなかった方もおいでください

妊婦、育児学級など

会場／総合福祉センター

2月	行事内容	受付時間	該当する方
9日（金）	離乳食相談会	午前9:45～10:00	18年7月生まれの子と保育者
20日（火）	マタニテイ教室第1コース	午後1:00～1:30	19年7月出産予定の方
21日（水）	マタニテイ教室第2コース		19年4月初出産予定の方
24日（土）	初めてのパパとママの子育て学級	午前9:30～9:45	19年5月出産予定の夫婦

会場／栄保健センター

14日（水）	離乳食相談会	午前9:45～10:00	18年7･8月生まれの子と保育者

会場／下田保健センター

9日（金）	マタニテイ教室第2コース	午後1:00～1:30	19年4･5月出産予定の方
15日（木）	マタニテイ教室第1コース		19年6･7月出産予定の方
16日（金）	両親学級	午後6:30～7:00	19年4～6月出産予定の夫婦
22日（木）	離乳食相談会	午後1:00～1:30	18年7･8月生まれの子と保育者

＊母子手帳を持参してください
＊マタニテイ教室第2コースにおいでの方は、ズボンを持参してください

■発行／三条市　〒955―8686 三条市旭町二丁目3番1号
☎(34)5511・ファクス(34)5691
Eメール　info@city.sanjo.niigata.jp

紙は大切な資源です。リサイクルしましょう!!広報紙も新聞紙と一緒に出してください。

まちのお宝み～っけ

池で飼育している鯉たち

今回のお宝は、馬場にお住まいの藤塚誠司さんの錦鯉（にしきごい）です。

馬場地区では、昔から用水（せせなぎ）で池を作り、家の中まで水を引き、洗い物などをしていました。そのころから食用鯉を飼っていました。当時は多くの家庭で飼育していましたが、現在は5軒ほどになりました。

昭和40年ころ、田んぼに作った池で飼育し始めた鯉が現在も2匹元気に泳いでいます。とても小さかった鯉が今では体長1㍍、重さ14㌔くらいに成長しました。年齢も40歳になり貫録があります。

15年くらい前に下田錦鯉生産組合に入会し、いろいろな地区を見に行ったり、聞いたりして勉強するうちに、錦鯉の美しさのとりこになりました。今は40匹くらい錦鯉を飼っています。おととし三条錦鯉愛好会にも入会し、昨年10月に開催された品評会に10匹出品し、優勝2匹、準優勝6匹と良い結果を残すことができ、とてもうれしく思っています。

自分の鯉が入賞することも楽しみの一つですが、鯉を通していろいろな人と出会えることが、趣味の仲間づくりに一役買ってくれます。

私の宝は、決して高価ではないけれど、私を楽しませ、仲間づくりをさせてくれる大切な鯉です。

皆さんのお宝を募集します

皆さんのお宝を紹介してみませんか。また、知人・友人でおもしろい物、大事にしている物などをお持ちの方をご紹介ください。

たくさんの応募をお待ちしています。

▽**問い合わせ…地域振興課広報広聴室**（☎内線308）

編集後記

◆合併号、見どころ盛りだくさんですが、いかがでしたか。特集をはじめ、各種講座や催しがあふれんばかり。今年こそ何かに挑みたいと考えていますが、どうなることでしょう。

◆寒くなりましたね。夏より好きだった冬。年のせいかなちょっと逆転気味！運動も始め、体力は「ぼちぼち」、寒さに負けず白鳥のように、元気に羽目を外さず羽ばたくてばね。

◆ヤッター！年末ジャンボの3億円が当たった。高級車に、常夏の海と捕らぬタヌキの皮算用。これで人生ばら色だ。こんな初夢を見てみたい。ひょっとしたら正夢になるかなー。

市のすがた

12月1日現在（対前月）

人口	107,110人（減 40人）	出生80人
男	52,169人（減 36人）	死亡86人
女	54,941人（減 4人）	転入108人
世帯	33,455世帯（増1世帯）	転出142人

＊この集計は、市独自の集計値です

PRINTED WITH SOY INK 大豆油インクを使用しております。
R100 古紙配合率100%再生紙